

第 44 回定時株主総会 質疑応答

質問 1 採用状況と社員数の動向について教えてください。

回答 1 今年 4 月入社分については残念ながら見送らせていただきました。2022 年 4 月入社に向けては、新卒の採用活動を進めています。適切な人数を探りながら、当社に親和性の高く、戦力となりそうな方を採用していきたいと考えています。

入社後の社員について、入社 3 年以内の離職率は、現在 3%前後となっており、減少傾向にあると思っております。

(回答者：堀貫取締役)

質問 2 これからイベントがスタートしていくと思います。その中で、イベントの単価は上昇するのかを教えてください。

回答 2 イベントの単価について、ひとくくりには言えないですが、実際にコロナ対策を実施しています。他にも演出要素について、オンラインでライブ配信を行うと、これまで発生しなかった費用が必要になります。このように単価が上がる要素もございます。一方、参加人数を半分にすると会場規模が小さくなります。セレモニーにおいて、現在レセプション等は開催されておりませんので、価格が下がる要素もあります。イベントの形式や主催者の考えによって単価は上昇も下落もしていく要素はあると考えています。

(回答者：田代専務)

質問 3 継続企業についての考え方について、議長から説明をしていただきたい。

回答 3 継続企業という言葉を上辺で判断すると、大丈夫なのか、続くのか続かないのか、危ないねと。そういう印象を持たれる一面もあると思いますが、私達が目指している継続企業は、普通の良い会社として、どこから、どの角度から見ても、間違いなく、社会環境の中で、ステークホルダーとの関係の中で、みんなから歓迎されて必ず繁栄する姿を目指してやってきたわけです。その基本は変えずに、周囲との関係をきっちり築き、互いのメリットを明確にし、その確認をして、交流をして、提供をして、そういう形でセレスポが世の中から歓迎される状況を作りながら、継続企業を目指していきます。

(回答者：稲葉社長)

質問 4 配当について、もう少し明確な株主還元方針を明示していただきたい。長期保有の株主にとってはインカムゲインです。それはできることなら年 2 回です。

回答 4 配当性向を設定し、それに沿う形で配当を行うと、その年にはあるけれど翌年には開催されない場合、例えば国際的なスポーツ大会のようにスポット的なものが入ってきたときに、配当額の振幅が大きくなりすぎます。そういうことを鑑みまして、やはり配当額が安定的に増配になっていく方が良いのではないかと考えてきました。今回はそれに応えることができませんでした。気持ちの上では、変わらずに配当額として安定的に増配できる配当のあり方を目指していきます。開示資料から、この数年間の配当額がどういう推移をしてきたかを見ていただければ、安定的に増配しようとしていることが、見て取れると思っております。

(回答者：稲葉社長)